

Be creative !



“自分自身の内なる辞書から言葉を探す” —3年生グローバル英語コース

昨年度の2年生グローバルコースの生徒は、このコロナ禍、コースにおける特別研修としてカナダへの留学あるいは国内での研修のいずれかを選択することになりました。形は違えども、いずれも「英語のシャワーを浴び続ける」体験であったことに間違いはありません。3年生に進級した彼らに、この体験を終えて、今、考えていることや今後の目標を語ってもらいました。



カナダに留学した皆さんにとっては、何よりホストファミリーや自分たちと同じく他国で英語を学ぶ留学生との出会いと交流が心に残っているようです。メキシコ・ベネズエラ・イラン、ベトナム等多彩な国からの留学生、ホストファミリーも中国、フィリピンと、まさに Diversity の中に身を置いた2か月間でした。人見知りをしてしまう自分との闘いもありました。もっといろいろなことに勇気を出してチャレンジができていたら、学校と家の往復だけでなく、もっとカナダを知ることができていたらと多くの心残りもあるなか、「まずは単語でぶつかっていく!」「わからないことは先生に聞きに行こう。」

「よし、ダウンタウンに一人で買い物に行ってみよう」「あの留学生と話がしたい。」明日、この勇気が出せるよう、夜、一人で英語の勉強をする。彼らの話からは、一步一步進もうとする、その生活の様子が手に取るようにわかりました。一方、国内研修を送った人たちは、研修先の日程が一週間、あるいは三泊四日と限られていたことにより、1日10時間にわたるレッスン、そして「No Japanese!」の生活の中、学校の授業とは異なる緊張感に満ちた研修を受けることになりました。まさに頭をフル回転させ、疲れて眠る・・・、景色を眺める余裕もなく、気がついたら外はもう真っ暗という生活、されど学びや気づきに満ちた日々だったということです。

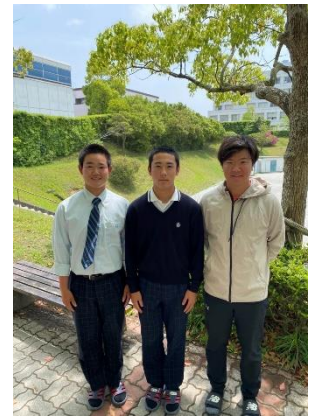
「この春の体験を通して、自分の苦手とすることが何か、それがしっかりと見えた。」と答える彼ら。「今後のチャレンジは何ですか」の問いに対する彼らの回答です。★質問を考える力をつけること。受け身では、質問ができる自分にはなれない。★英語の学習に対するモチベーションを持続させること。予習をする自分になれた。★航空関連の仕事に就きたいので、アメリカ英語習得後は、イギリス英語についても学びたい。★大学に進学したら第2言語はスペイン語を選択したい。これは研修先で知り合った先生の影響でもある。★様々な国の人と知り合うことで、文化の多様性を実感する日々だった。大学では文化について学びたいという思いが強くなった。★何より人間関係の広がりがあった。単に知り合えただけでなく、共に生活ができた。この広がり在今后の生活の中でも大切に、さらに広げ、継続させていきたい。★英語も学んだが、人間のことも学んだ。ホストファミリーは本当にいい人だった。「君はいい子、頑張って勉強をしてね。」と常に自分を励ましてくれた。その人間性に自分も学びたいと思う。



「これで終わりではなく、学び続ける。英語で語りかけられ、なかなかパツとは答えられなかった。でも、まずは自分自身の内なる辞書から言葉をひねり出す。やがてフルセンテンスで対応できる自分に向上する。学びは長期戦。粘り強く頑張る!」一人の女子生徒の思いです。グローバル英語コースの皆さん、応援しています!

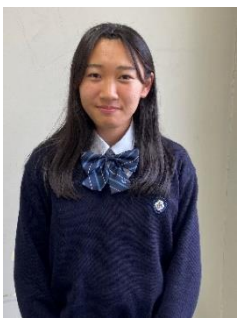
リーダーは語る 頑張っている3人のリーダーを紹介します

その1: 神田海大君、山本大雅君(3年A組) * 昨年の体育祭の実行委員長・副委員長を担った二人。今年の体育祭は、昨年の取り組みを更に発展させ、縦割りグループを作って取り組みます。そのねらいや思いを彼らにインタビューしました。保健体育科の高橋先生にもご協力いただきました。



学年を超えたつながりを作り、ブロックで競い合うことにより球技大会や体育祭を盛り上げていきたいと彼らは考えます。コロナ禍において、リモートでの取り組みが増える中、「力を合わせて行事を実際に作り上げる魅力を生徒自身に実感してもらいたい。」と高橋先生。「スポーツをする・見る・支える」というスポーツコースの学びとの関連の中で本校の体育祭は運営されます。スポーツコース2年生を軸に3年生スポーツコースがそれをサポートし、一つのスポーツ行事を企画・運営することを通して、「スポーツを支える」そのことの意味合いを彼らは学んでいきます。昨年の体育祭の取り組みを彼らはこう振り返ります。「仕事を割りふることが下手で、なんでも自分自身でやろうとしてしまったが、実際に自分たちだけでは何もできなかった。準備の大切さも求められたが、順序立てて取り組みを進めることができない。試行錯誤の日々だった。」「迷っている生徒に答えを与えることは簡単。でも、考えてほしかったので、『どうしたらいいと思う?』と疑問を投げかけることを心がけた。」と高橋先生。「リーダーとして悩むことが多かった。」と神田君。しかし、「疑問を投げかけてもらったことで、生徒同士で考えることができ、コミュニケーションが生まれ、つながりができた。集団演技も最初は絶対にやれないと思ったし、自信もなかったが、模索を続けることで、2年生と3年生のつながりが自然と生まれた。やってやろう!と思えるようになった。全員で協力すればできるんだ、あきらめずにやろう。」これが、神田君・山本君たちが学んだことでした。彼らは語ります。「生徒のみんなが心から全力で楽しめる体育祭をスポーツコースが中心になって創りたい。自分たちは最上級生として、主軸である2年生をサポートし、競技の中でも模範となる姿を見せたい。」今年の体育祭が楽しみです。

その2: 昨年度1年生後期学年議長 浜田陽菜さん(2年F組) * 今年度の入学式、新入生を歓迎する取り組みを中心になって企画。彼女は、その企画の最後に新入生に向けて励ましの言葉を述べました。思いの伝わる、素敵なスピーチでした。まだ見ぬ新入生の姿、思いを想像し、一生懸命企画を作り上げた旧1年議長団の皆さんの思いが私たち教員にも伝わってきました。新入生もうれしかったと思います。彼女には自分たちの取り組みを振り返り、その時の思いを語ってもらいました。



中学校の時に総務(学級の代表)の任務にはついていましたが、高校では代表になる勇気をもてずにいました。1年生の後期になり、少し勇気を出してみようと思い、議長に立候補しました。また、自分が新入生の時に、知っている先輩が自分たちの入学を祝ってくれて、とてもうれしかったことを思い出し、今度は自分がそのメッセージを送りたいと思ったのも理由の一つです。在校生発表を考える時、一番苦労したのは新入生に高校生活の楽しさを伝えられるかどうかということです。コロナにより行事が縮小され、伝えるべき内容が限られるので、その行事の面白さややりがいをどういう言葉で伝えたらいいか、少し迷いました。工夫したところは、新入生の緊張をどうやってほぐすかということです。○×クイズの時、「シンキングタイムで踊ろう!」ということになりました。議長団のみんなは本当に楽しそうに踊ってくれ、盛り上げてくれました。新入生の皆さんがクイズに手を挙げてくれたこともうれしいことでした。私は人前で話すのが苦手な緊張してしまうのですが、議長団のみんなは私を励ましてくれました。議長団のみんなの力があってから、発表を創ることができました。感謝です。

遠く離れた親愛なる私たちの姉妹校の皆さんに、今年も卒業式のメッセージを送りました。

フィリピンの姉妹校 Silay Institute 校も長らくオンラインの授業が続いていましたが、今年の卒業式は対面での取り組みが可能とのこと。「This time we will be having a face-face graduation.」この知らせに、本当に安心をしました。心のこもった卒業式が今年は6月7日に執り行われる予定です。(メッセージの抜粋を掲載します)

Congratulations to the Senior High School Graduates of Batch 2022!
Meeting you changed my life. Three years ago, I attended your graduation ceremony. The politeness and pride of the graduates at that time really left a lasting impression on me. Being able to see the radiant appearance of the graduates up close was a valuable opportunity for me. You taught me the importance of living sincerely.



We, from Nihon Fukushi University Affiliated High School are learning a lot from your school, teachers, and students. We are exultant to have an immeasurable bond with your school.

Your graduation will be the only first of many proud and successful moments for you. Can't wait to see where life will take you next. We know it will be a bright one! Please be the person who will continue to face new challenges and create your future.

Now is the time to join hands with the people of the world with the desire for peace.

Young people are the generation who will create the new face of the future. Hoping for the day to see you again here in the Philippines or our country, Japan.

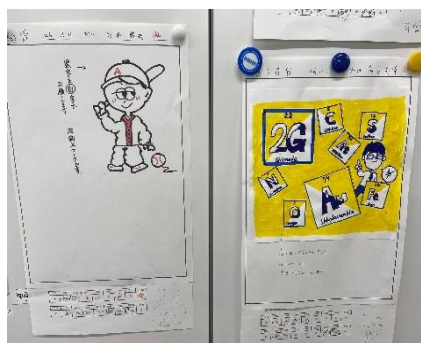
I completely wish that our friendship will be stronger.

Sa liwat, Congratulations sa pag graduate niyo! Madamo gid nga salamat!

山口喜久枝

Tシャツ作りが進んでいます！

球技大会・体育祭に向けて、各学級・ブロックでのTシャツ作りが急ピッチで進められています。「徹底してオリジナルを追求する」ことが今年のテーマです。アイデアあふれる作品が寄せられています。



★今月の言葉★ “ Be curious ! ” スティーブン・ホーキング博士の言葉より

Remember to look up at the stars and not down at your feet.

Try to make sense of what you see, and wonder what makes the universe exist. Be curious. And however difficult life may seem, there is always something you can do and succeed at.

It matters that you don't just give up. While there is life, there is hope.



*ラジオ講座「Enjoy Simple English」でこのスピーチが紹介されました。